

## 初出一覽

ローレンス・スターン研究の現在——序に代えて（書き下ろし）

### 第一部『権争物語』論

第一章「スターンの『書くこと』の始まり」——大阪大学大学院 *Osaka Literary Review* VI号（昭四十七年）「*Political Romance*の問題——Laurence Sterne における『書くこと』のはじまり」を改題。

第二章「『トリストラム・シャンディ』への道——『鍵』としての『権争物語』」——『英語青年』昭和六十年四月号「*Tristram Shandy*への道——「鍵」としての *A Political Romance*」を改題。

### 第二部『ヨリック氏説教集』論

第三章「『書くこと』のもう一つの始まり」——『*Critical Studies* 英米文学評論』創刊号（昭四十八年）「『ヨリック氏説教集』の問題——ローレンス・スターンにおける『書くこと』のもう一つのはじまり」を改題。

第四章「スターンの教育論——説教第20番」——関西大学英文学会『英文学論集』第十八号（昭五十四年）「Laurence Sterneの教育論ノート——Sermon XX “The Prodigal Son” をめぐって」を改題。

### 第三部『トリストラム・シャンディ』論

第五章「スターン文学の伝統的解釈」——英宝社『山川鴻三教授退官記念論文集』（昭五十六年）「Laurence Sterne 解釈についての覚え書」を改題。

第六章「死神と諧謔——センチメンタリズム」——『ユークロニア』第3号(昭四十九年)「死神と諧謔——ロレンス・スターン『トリストラム・シャンデイ』における喜劇的特質考」を改題。

第七章「△不敬の疑問符▽——スターンの創作原理考(一)」——東海大学出版会『イギリスのヒューマニズム小説』(昭五十七年)「『トリストラム・シャンデイ』論」を改題。

第八章「道化とモラリストの語り——スターンとオースティン」——昭和堂『英米文学との出会い』(昭五十八年)「道化とモラリストの語りの方法論——ロレンス・スターンとジェイン・オースティン」を改題。

第九章「サンチョとブルーストッキング——スターンの女性像」——英潮社『英国小説研究』第19冊(一九九五年)「ロレンス・スターンの女性像——Ignatius Sancho と Blue-stocking Ladies」を改題。

#### 第四部『センチメンタル・ジャーニー』論

第十章「△自然▽の表象論」——日本文学会『英文学研究』第五十六巻第一号(昭五十四年)「In Pursuit of Nature: A Sentimental Journeyにおける自然の表象」を改題。

第十一章「ディスコース分析——スターンの創作原理考(二)」——関西大学英文学会『英文学論集』第20号(昭五十五年)「A Sentimental Journeyにおけるdiscourse」を改題。

#### 第五部『イライザに寄せる日記』論

第十二章「懸想と死神——晩年の恋愛遊戯」——大阪大学文学会『待兼山論叢』第7号(昭四十九年)「懸想と死神——The Journal to Elizaにおける'amo ergo sum'と△書△と▽」を改題。

第十三章「スターンの道化」——関西大学『文学論集』第二十五卷第一・二・三・四合併号（昭五十年）「ローレンス・スターンの道化——Alas, poor Yorick」を改題。

附 論

一「漱石のスターン論——『トリストラム、シャンデー』私注」——関西大学『文学論集』第四十三卷第一号（平五年）の同名の論文を再録。

二「トマス・パッチの絵のこと」——英潮社『英語文学世界』昭四十九年七月号「時計と死神——ローレンス・スターンのヒューモアとトマス・パッチの絵のこと」を改題。

三「『権争物語、あるいは夜番外套物語』——抄訳と書誌的解題」——『ユークロニア』第2号（昭四十七年）「ローレンス・スターン『権争物語』から『鍵』の章——試訳・付解題」、『ユークロニア』第5号（昭五十一年）「ローレンス・スターン茶番狂言『夜番外套物語』あるいは田舎教会権力争い滑稽譚」、及び『ユークロニア』第6号（昭五十二年）「ローレンス・スターン『夜番外套物語』拾遺」を合わせて改題。

以上、「改題」としたものは全て必要な修正を施している。

## あとがき

この難解きわまる十八世紀イギリスの作家を研究テーマとして選んだのは、修士論文を構想し始めた一九七〇年頃であるから、すでにそれから一代が過ぎたことになる。スターンを選ぶ前はジェイムズ・ジョイスが私の好みの作家だったが、それも『若き日の芸術家の肖像』どまりで、私は何を思ったか、そこから英国小説の源流にさかのぼるようにして、人もあろうに漱石が「海鼠の如き」と評した、世界文学中の奇書ともいうべき『トリストラム・シャンデイ』の作家を選んだのであった。しかし、この作品の読解は当時の私の語学力からして困難を極めた。私はず、スターンのもう一つの代表作で、エッセー風の旅行記、『センチメンタル・ジャーニー』に取り組んだ。これとて決して読みやすい作品ではない。テクストのパラグラフの主題ごとにノートを取り、不明の語句についてO・E・Dを中心に様々な辞書類を調べ、正確な定義を書き写す。その過程で研究社英文学叢書の岡倉由三郎の注釈と、当時も手に入りにくかった村上至孝訳『センチメンタル・ジャーニー』（昭和二十二年、弘文堂文庫）を参考にテクストの読解を進め、論文のテーマを同時に探っていった。（翻訳者の村上至孝先生はのちに私にとつての恩師となった。）こうした注釈ノートの作成は『トリストラム・シャンデイ』のばあいも同様だった。幸いにも『トリストラム・シャンデイ』の翻訳はすでに昭和四十一年、海老池俊治・朱牟田夏雄訳が出ていた。ちなみにそれは朱牟田夏

雄個人訳として改訂され、昭和四十四年岩波文庫に入った。この翻訳はわが国のスターン研究にとって画期的な出来事だったと言うべきで、それが特にスターン研究者たちにあたえた恩恵は計り知れない。本書においても引用はすべて朱牟田訳によっている。かつて朱牟田先生がヨーク大学で日本のスターン研究について講演をするよう依頼されたことは、何よりその翻訳者としての業績があつたからであろう。翻訳というものの価値付けについては、日本と西洋では大きなへだたりがあるようだ。

ともあれ、私はこのようにスターン研究をはじめ、『トリストラム・シャンデイ』に見られる「センチメンタリズムと笑い」の特質をテーマに修士論文をまとめた。私は、国柄も時代状況も異なるこの作家の中に、矛盾対立する観念の両方を抱え込んでしかも健全なる笑いの精神を發揮するという、その内的世界の振幅の大きさを見て、そこに不思議な魅力を感じた。スターンの笑いの哲学は、私たちの精神の強張りを揺さぶって、自由な世界に解放してくれるように思われた。一方スターンその人の実人生は、家庭的幸福とは程遠く、その肉体は常に危殆に瀕していた。牧師としての出世もあまり期待できなかった。このような作家の現実とそのフィクションのあいだの懸隔のイメージが私には興味ぶかく思われた。その実人生とのへだたりがある故に、作品のヒューマラスな世界は意義深い達成と思われた。この作家はそのような人生上の選択を果たしたのだと私は理解した。そうとすれば、私のやるべきことはその実像に出来る限り接近することだ。そのために作品を追体験するような気持ちで読み込むことだ。私その後の研究は、このような問題意識から外れることはなかったと言つてよいのではないかと思う。

もっとも、その後大学の教師となつてからは、この作家だけに集中しておれなくなって、授業や各種の研究會・

読書会をきっかけにして出来るだけ勉強の巾を広げるように努めるうち、院生時代の純な気持ちは薄れてしまった。そうこうするうちに、私に在外研究の機会が与えられた。一九八五年から八六年にかけての一年間である。私は、ケンブリッジ大学図書館の副館長をしていたスターン資料の収集家で書誌学者でもあるJ・C・T・オートツ先生に推薦していただいて、ダーウィン・カレッジの准会員になり、スターン研究を書誌学の基本からやり直すことにした。私は、オートツ・コレクションのノートを取るかたわら、書誌学者フィリップ・ギヤスケルの「プリンティング・クラス」に入った。それは、大学図書館の地階にある、旧大学出版局時代の印刷機が保管されている部屋で行なわれた。そのクラスの目標は、十八世紀のある炭鋌の実情をルポした手記（マニユスクリプト）を活版印刷して小冊子に仕上げるというものであった。七、八名の受講生がそれぞれ担当部分を割り当てられて、その読みにくい手書き原稿の文章のままに鉛の活字を逆さに並べてゆくのである。鉛活字は、大文字類が上段のケースに、小文字類が下段のケースにそれぞれアルファベットごとに入っており、空白部分の活字も何種類も用意されていた。「ロウアー・ケース」が何故「小文字」という意味であるかを実地に知ったのはこの時である。私たちは、八つ折り判の幅に活字を揃え、四、五行ごとにまとめた固まりを印刷台の上に並べる。そうやって八ページの活字が無事に並んだところで、インクを塗り、紙を置き、その上から輪転機をまわして押してゆく。この作業を頁数と発行部数の数だけ繰り返していった。それが済むと、後は折りと糸綴じである。それはままごとのような楽しい作業で、ここまできると皆、和気藹々といった雰囲気を楽しんでいた。ギヤスケル先生は、こうした作業の間にも質疑や討論の時間をはさんだり、図書館の中の、書物修理室の見学をさせてくれたりした。そして最後には私たちの手作りの小

冊子を記念に一部手渡ししてくれた。このクラスは今思い出しても懐かしい楽しい時間であった。そして、それ以上に意味のあるクラスであった。というのも、知る人ぞ知る書誌学の大家に直接教えを受けたということと同時に、受講生の中に誰であろうスターンの注釈者、ジェフリー・デイ氏がいたからである。私にとってこれ以上の幸いはいなかった。デイ氏との付き合いの中で、彼自身の注釈の仕事の趣味もよく分かり、また英国内外のスターン研究者の動向もそれとなく分かってきておもしろかった。殊に、スターンの牧師館を守っていたモンクマン夫妻を中心とするサークルの存在は、彼のおかげでいつそう親しいものとなった。その意味で、その年の「スターンの夕べ」は特別だった。ヨーク大学のベルトゥ教授やオランダのピーター・デイ・ヴォークト氏らと親交をむすぶことが出来ただけではない。そのころ既に構想されていたスターンの研究誌『シャンディアン』の編集に海外の一員として参画するよう要請されるということがあったからである。同誌の方針として「インターナショナル」な性格をもたせたいということであるならば協力を惜しむべきでないと考えて承諾した。

ところで、ケンブリッジの一年はそれやこれやでたちまちのうちに過ぎて、肝心のスターン研究のほうは初期刊行本の書誌的確認の作業で終わってしまった。『シャンディアン』誌の創刊は、帰国して三年後（一九八九年）のことである。それから既にじゅうぶん以上の歳月が流れている。この間スターン論をまとめたという願望はもっていたが、その統一的イメージをどの点にもとめるかについては容易に結論が出なかった。しかし、その結論が最終的なものでないにしても、いわば中仕切りとして、自分が考えてきたこの作家の全体的なイメージを捉えておくべき時がきたという思いが強くなった。そのイメージを私は本論文集のタイトルの副題——「創作原理としての感情」

——に求めた。このばあい、「感情」は「センチメント」の訳語として考えたい。感情はほんらい無定形なものであろう。その感情に形をあたえることが、広く言つて芸術・文芸の創造に他ならない。そしてスターンのばあい、「センチメンタリズム」の表出は作品を書き進めるさいの原理・原則的なレベルにおいて認識されている。感情の動きという捉えどころのない、いわば無常きわまりない、形なきものそのものが、創造行為の目標であり、それは作家の意識の中心に位置しているであろう。その意味においてそれは原理的な指標として働いている。スターンにおいて感情と原理という相容れない概念は、∧書くこと∨のなかで統一をみる。ここにこの作家の独自性がある、というふうには私は考えてきたように思われる。

このようにして本書をまとめることになったが、このようなささやかな論集でもその刊行に至るまでに多くの方々のお世話になっている。まず私はこの書物を今は故人となられたお二人の先生にささげたい。スターンの翻訳者の一人であり、大阪大学教授であつた村上至孝先生と、大阪大学退官後、関西大教授であつた吉田安雄先生である。村上先生には大学院の演習以外でもスターン研究についての懇切丁寧な指導をいただいたのみならず、また種種のお世話もおかけした。私がケンブリッジのオーツ先生に初めてお目にかかるさいには、丁寧な推薦状を書いてくださった。吉田先生には関大英文科の同僚として実地にテキスト読解と注釈の訓練をうけた。先生を中心にジェイン・オースティン研究会が組織され、その成果として『マンズフィールド・パーク』の注釈三巻が関大出版部から刊行され、英文学界に少なからぬ反響を呼んだことは記憶にあたらしい。先生の業績のなかにはスターンの抄訳があり、本書でもそれを利用していただいたが、いつぼう先生の手元にはノートに載せられる以前の、『トリスト

ラム・シャンデイ』のための手作りのカードが相当量のこつていたことを知っている。それらをめぐつての先生のお話は刺激的であつた。村上、吉田、両先生からはこのように有形無形の恩恵を受けたのである。

本書の刊行は「関西大学研究成果出版補助金規程」に基づくものである。この刊行をお認めいただいた大学当局ならびに出版委員会の方々に御礼を申し上げたい。そして、それに先立って本書のために出版委員会への推薦状を書いて下さつた、先輩同僚の樋口欣三先生と藤田實先生に感謝の意をささげたい。また、校正の段階で本文に目を通して下さり、貴重な助言を惜しまれなかつた干井洋一氏にも厚く御礼申しあげたい。また、いちいちお名前はあげないが、英文科の同僚方や日本ジョンソン協会などで親交を結んだ先生方、「ローレンス・スターン・トラスト」の方々、そして昔からの友人たち、それらの方々から得た学恩と支援も忘れることができない。そして言うまでもなく、わが家族の支えも。

最後になつたが、出版の実際面でお世話になつた大学事業局出版部出版課の方々、前課長の矢崎賢司氏、現次長の荒木紀忠氏、主事の福井智佳子さんにも御礼申し上げたい。ことに本書の刊行計画の始めから終わりまで一貫してお世話とお骨折りをいただいた福井さんには格別の謝意を表したい。

平成十二年七月七日

坂本 武

## 索 引

### ア 行

- アグネス (Agnes Sterne) 7  
 アディソン (Joseph Addison) 46,  
 263, 308  
 荒井 献 71 n  
 アリストテレス (Aristotle) 220  
 アルヴァレス (A. Alvarez) 224  
 イーザー (Wolfgang Iser) 149  
 石井重光 xii  
 伊藤 誓 xv  
 インチボールド夫人  
 (Mrs. Inchbald) 218  
 ヴィージー夫人 (Mrs. Elizabeth  
 Vesey) 182, 192, 194  
 ウィッチコウト, ベンジャミン  
 (Benjamin Whichcote) 44  
 ウィリアムズ, フランシス (Francis  
 Williams) 185  
 ウェズレー, ジョン (John Wesley)  
 101-2  
 ウォークワス, レイディ (Lady  
 Anne Warkworth) 274  
 ウォード, シーザー  
 (Caesar Ward) 13, 25, 385, 388  
 ヴォルテール (Voltaire) 197  
 ウォルポール (Horace Walpole)  
 313-4, 331, 337  
 ウード, オーガスタス (Augustus  
 Wood) 304

- ウルストンクラフト, メアリ  
 (Mary Wollstonecraft) 200  
 ウルフ, ヴァージニア (Virginia  
 Woolf) 95, 121-2, 137, 176-7,  
 181 n, 217, 281 n, 315, 332  
 エヴァンズ (T. Evans) 378  
 エピクテートス (Epictetus) 195  
 エラスムス (Desiderius Erasmus)  
 76  
 エリオット (T. S. Eliot) 177  
 エリザベス (Elizabeth Sterne) 7  
 (「ラムレイ, エリザベス」を見よ)  
 エリス, マークマン (Markman  
 Ellis) 185  
 エンプソン (William Empson)  
 232-3  
 オースティン, ジェイン (Jane Aus-  
 ten) 18, 173-80, 181 n  
 オーツ (J. C. T. Oates) xi

### カ 行

- カーター, エリザベス (Elizabeth  
 Carter) 195, 197, 199  
 カーティス (L. P. Curtis) vi,  
 viii, x, 186, 188, 284, 378  
 カメル (Thomas Campbell) 323  
 カーライル (Thomas Carlyle)  
 122, 312  
 ガレーノス (Claudius Galenus)  
 107

索引

キーツ (John Keats) 87, 112-3  
 ギブズ (Thomas W. Gibbs) 267  
 ギボン (Edward Gibbon) 85, 121  
 キャッシュユ, アーサー (Arthur Hill  
 Cash) ix, xi, xiii, 6, 24, 41,  
 47, 185, 192  
 ギャリック, デイヴィッド (David  
 Garrick) 116n, 186, 197-8, 378  
 ギルバート (Dr. Gilbert) 9  
 クーパー (William Cowper) 308  
 クラーク, サミュエル (Samuel  
 Clarke) 44, 76  
 クルックシャンク (George Cruik-  
 shank) 380  
 棚沢雅子 77  
 グレイ (Thomas Gray) 284, 308  
 クロス (Wilbur L. Cross) v-vi,  
 viii, 24, 185, 260, 267, 284,  
 298, 338, 376-7, 379-82, 384-5  
 ゲーテ (Johann Wolfgang Goethe)  
 145, 312-3  
 コウルリッジ (S. T. Coleridge)  
 47, 82, 87, 122, 189, 315, 334  
 コシチューシコ (Thaddeus Kos-  
 ciusko) 323  
 小宮豊隆 309  
 ゴールドスミス (Oliver Goldsmith)  
 39, 46, 118, 308  
 コンラッド, ピーター  
 (Peter Conrad) 87-8

サ行

サッカレイ (W. M. Thackeray)  
 vii, 43, 54, 122, 267, 313-5,

318  
 サンチョ (Ignatius Sancho) 182-  
 203  
 サンドウィッチ伯  
 (Edward Montagu, 1st Earl of  
 Sandwich: 1625-72) 183  
 シェイクスピア (Shakespeare)  
 38, 69, 143, 147, 176, 197-8,  
 208, 299  
 ジェイムズ, ウィリアム (William  
 James) 262, 267  
 ジェファソン (D. W. Jefferson)  
 xiii, 23, 77, 122, 141, 316  
 シェーラー, エドモン (Edmond  
 Scherer) 47  
 塩田 勉 xvi  
 シクロフスキー (Viktor Shklov-  
 sky) xiii, 26  
 シチェル, ウオルター (Walter Si-  
 chel) viii  
 ジャック, イアン (Ian Jack) 75,  
 120, 243-4, 377, 385-6  
 シャポーン, ヘスター (Hester  
 Chapone) 199-200  
 ジャン・パウル (「リヒター」を見よ)  
 朱牟田夏雄 xiv  
 シュレーゲル, フリードリヒ  
 (Friedrich von Schlegel) 143  
 ジョイス, ジェイムズ  
 (James Joyce) 121  
 ショウ, マーガレット (Margaret  
 R. B. Shaw) viii  
 ショウオルター, エレーヌ (Elaine  
 Showalter) 200

ジョン, 第二代モンタギュー公爵  
(John, second Duke of Montagu)  
183-5  
ジョンソン, サミュエル (Samuel  
Johnson) 39, 85-6, 120-1, 159,  
174-5, 177, 180, 195-8, 308  
ジョンソン, ベン (Ben Jonson)  
77, 107, 141  
スウィフト (Jonathan Swift) 3,  
16, 23, 28, 76-7, 82-3, 85, 107,  
118, 121, 139, 141, 147, 160,  
162, 261, 263, 285, 292, 325, 388  
スカロン (Paul Scarron) 76  
スコット, ウォルター (Sir Walter  
Scott) 315  
スコット, セアラ (Sarah Scott)  
187, 192  
スターン, ジェイクス  
(Jaques Sterne) x, 7  
スターン, リチャード (Richard  
Sterne) 4, 135, 266  
スターン, リディア (Lydia Sterne)  
263-4, 285, 293  
スティーヴン, レズリー (Leslie  
Stephen) 46, 97, 315, 333  
ステイリンフリート (Benjamin  
Stillingfleet) 196  
スティール (Richard Steele) 46,  
263, 308  
ステッドモンド, ジョン (John M.  
Stedmond) xiii, 298, 301  
ステラ (Stella = Hester Johnson)  
285  
ストザード (Thomas Stothard)

380  
スモレット (Tobias Smollett) 75,  
118, 308, 378  
スレイル夫人 (Mrs. Thrale, or Mrs.  
Piozzi) 199  
セインツベリ (George Saintsbury)  
118  
セルバンテス, ミゲル・デ (Miguel  
de Cervantes Saavedra) 23, 31,  
69, 143, 147, 208, 312

### タ行

タナー, トニー (Tony Tanner)  
19  
ダン, ジョン (John Donne) 77,  
141  
チャーチル, メアリ (Lady Mary  
Churchill, Duchess of Montagu)  
183  
津川リリ子 155 n  
ツユッケルト (Johann Friedrich  
Zückert) 313  
デイ (W. G. Day) vi-vii, xii-xiii  
デイヴィッド, マージョリー (Mar-  
jorie David) vi  
デイ・ヴォークト (Peter de Voogd)  
xi, xiii  
ディクソン (James Main Dixon)  
304  
デイドロ (Denis Diderot) 44, 87  
デイビス (R. A. Davys) vi  
デイ・フロウ (A. De Froe) 288-9,  
292  
ティロットソン (John Tillotson)

索引

44

- デカルト (René Descartes) 87, 139, 144  
デフォー (Daniel Defoe) 85-6, 118, 125, 325  
トウエイン, マーク (Mark Twain) 125  
トパム, フランシス (Francis Tompam) 5, 8-11, 13, 25, 28  
トムソン, デイヴィッド (David Thomson) viii, 271-2, 291, 297, 299, 338  
ドレイパー, イライザ (Elizabeth Sclater Draper) 192-3, 246-7, 261-5, 268-78, 282, 285-7, 289-91, 293  
ドレイパー, ダニエル (Daniel Draper) 262  
トレイル (H. D. Traill) 315, 323  
トロウゴット, ジョン (John Traugott) xii, xvi, 42-3, 83, 147, 299

ナ行

- 中野好夫 330 n  
夏目漱石 xiv, 304-330  
ナボコフ (V. Nabokov) 18-20, 22-3  
ニュー, ジョアン (Joan New) vi  
ニュー, メルヴィン (Melvyn New) v, ix, xi, xiii-xiv  
能美龍雄 xv  
ノリス (John Norris) 44

ハ行

- パイパー (W. B. Piper) 298  
バイロン (George Gordon Byron) 313-4  
ハウズ (A. B. Howes) xiii  
バーク (Edmund Burke) 85, 121  
バザースト (Allen Bathurst) 263  
バジョット (Walter Bagehot) 54  
パッチ, トマス (Thomas Patch) 331-9  
バッテン, チャールズ (Charles L. Batten) 86  
ハットン (Dr. Hutton) 8-9, 29  
バテスティン, マーティン (Martin C. Battestin) 83, 89, 147  
ハート, アーネスト (Ernest Hart) 304  
バトラー, ジョウゼフ (Joseph Butler) 76  
ハートレイ, ロドウィック (Lodwick Hartley) viii  
バートン, ロバート (Robert Burton) 23, 109, 230, 314  
バーニー, ファニー (Frances Burney) 197  
バフチン, ミハイル (Mikhail Bakhtin) 83, 89, 142-3, 153, 301  
ハーボトル, ジェイン (Jane Harbottle) 5  
ハミルトン, ハーラン (Harlan Hamilton) 243-4  
ハモンド (Lansing V. D. H. Hammond) 53, 66, 76, 317

バーンズ (Robert Burns) 308  
ハント, リー (Leigh Hunt) 318-9  
ピアース (D. Pierce) xiii  
ピット (William Pitt) 154  
ヒッペル (Hippel) 316  
ヒューム (David Hume) xv, 215  
ファウラー (Roger Fowler) 125,  
149, 162, 181 n, 238-9  
ファウンテン, ジョン (John  
Fountayne) 8-9, 29-30  
フィッツジェラルド, パーシー  
(Percy Fitzgerald) vii, 314-5,  
380-1, 383-4  
フィールドィング, ヘンリー  
(Henry Fielding) 46, 75-6, 88,  
118, 127, 160-1, 180, 211-2, 308  
フェアチャイルド (H. N. Fairchild)  
94, 332  
フェリア, ジョン (John Ferriar)  
76  
フォースター (E. M. Forster)  
234, 250  
ブース (Wayne C. Booth) 125,  
162-3, 181 n  
フッセル, ポール (Paul Fussell)  
85-6, 121  
フライ, ノースロップ (Northrop  
Frye) 88  
ブラウン, ジェイムズ (James P.  
Brown) 380  
ブラッドベリ (Malcolm Bradbury)  
283  
フリュシェール, アンリ (Henri  
Fluchère) ix, 42, 298, 301

ブルードネル, ジョージ (George  
Brudenell, 4th Earl of Cardigan)  
186  
ブルーム, ハロルド  
(Harold Bloom) xvi  
ブレイク, ウィリアム (William  
Blake) 233  
フレネー (Joseph Pierre Frénais)  
313  
フロイト (Sigmund Freud) xvii  
ベイコン, フランシス (Francis  
Bacon) 63, 76  
ベケット (Samuel Beckett) 121  
ベルトウ, ジャック (Jacques Ber-  
thoud) xi, xiii  
ベントリー, リチャード (Richard  
Bentley) 76  
ホガース (William Hogarth) 43,  
185, 337  
ボズウェル (James Boswell) 197  
ホブズ (Thomas Hobbes) 46  
ボーデ (J. J. Ch. Bode) 313, 378  
ホーネック, キャサリン (Catherine  
Horneck) 186  
ポープ (Alexander Pope) 23, 31-  
3, 85, 107, 121, 221, 263, 308,  
325  
ホフマン (E. T. A. Hoffmann)  
301  
ホメロス (Homer) 146  
ホラティウス (Horace) 11-2, 16,  
145-7  
ホルクロフト, トマス (Thomas  
Holcroft) 218

## 索引

ホール＝ステイヴンソン, ジョン  
(John Hall-Stevenson) 32, 38,  
243-4, 322, 377, 379  
ボワロー, ニコラ  
(Nicolas Boileau) 3, 360 n, 388  
マ行  
マイヤー, ヴァレリー (Valerie G.  
Myer) xiii, xvi  
マイヤーズ, シルヴィア (Sylvia H.  
Myers) 199  
正岡子規 305-8  
松尾力雄 xv  
マッケンザー (Henry Mackenzie)  
316  
マッソン (D. Masson) 323  
松村達雄 234 n  
マードック, ジェームズ (James  
Murdock) 305  
マードック, ハロルド (Harold  
Murdock) 377  
マン, ホレス (Sir Horace Mann)  
337  
ミュア, エドウィン (Edwin Muir)  
95  
村上至孝 xv  
メイエル, ヘルマン (Herman  
Meyer) 77  
メルヴィル, ルイス  
(Lewis Melville) vii  
モア, ハンナ (Hannah More) 196  
-8  
モンク (S. H. Monk) 333  
モンクマン, ケネス (Kenneth

Monkman) ix-xii  
モンクマン, ジューリア  
(Julia Monkman) x-xi  
モンタギュー, エドワード (Edward  
Montagu) 183  
モンタギュー, エリザベス (Mrs.  
Elizabeth Montagu) 182-3, 187,  
191-4, 197-8, 286  
モンタギュー, レイディ・メアリ・ワ  
ートレイ (Lady Mary Wortley  
Montagu) 183, 191, 198-9  
モンテーニュ  
(Michel Eyquem de Montaigne)  
69-70, 76, 127, 130, 174, 195

## ヤ行

ヤング (Edward Young) 284  
ユーリピデス (Euripides) 229  
吉田安雄 90 n

## ラ行

ライリー (J. Riley) xii  
ラプレー (François Rabelais) 23,  
69, 76-7, 81, 87, 107, 113, 133,  
139-43, 313 (「ラベレイ」), 314  
ラ・ボーム (La Baume) 378  
ラム, チャールズ (Charles Lamb)  
122  
ラムレイ, エリザベス (Elizabeth  
Lumley, i.e. Mrs. Sterne) 182,  
192-3, 201, 263-4, 285-6  
リチャードソン, サミュエル  
(Samuel Richardson) 75-6, 94-  
5, 118, 378

- |  |  |
|--|--|
| リード, ハーバート<br>(Herbert Read) 87-8, 108, 112,<br>225, 298                                 | 298, 301, 331  |
| リヒター, ジャン・パウル (Jean<br>Paul, or Johann Paul Friedrich<br>Richter) 47, 143, 312, 316, 334 | ロック (John Locke) xv, 23, 26,<br>44, 54, 63, 66-9, 76, 84-5, 153,<br>167, 320 |
| ルソー (Jean-Jacques Rousseau)<br>69, 87  | ロバリッジ, マーク (Mark Love-<br>ridge) 26  |
| レッシング (Gotthold Ephraim Les-<br>sing) 312-3  | ローリー, サー・ウォルター (Sir<br>Walter Raleigh) 92, 331                               |
| レノルズ (Sir Joshua Reynolds)<br>85, 121, 197-8, 380  | ワ行   |
| レマン (Benjamin H. Lehman)   | ワーク (J. A. Work) vi  |
|  | ワーズワス (William Wordsworth)<br>308  |

## 精選参考書誌

参考書誌を作成するにあたり、(I)作品・書簡・伝記等の一次資料と、(II)研究書・研究論文等の二次資料に分け、それぞれに邦文文献を追加した。さらに(III)研究誌の項目を設け、「序に代えて」で触れたように、特にスターン研究誌『シャンドリアン』と「スターン特集」を組んだ『*New Perspective*』誌の目次をリストアップした。本書誌作成の基本を、今後のスターン研究にとって重要な資料を精選すること、という点に置いたが、既に伊藤誓氏による詳細な書誌(『スターン文学のコンテクスト』巻末、「スターン関連文献」)の例があり、事の性格上重複した資料が多くなったのは止むを得ない。しかし、1995年、同書の出版以後に出た新しい資料も入れている。出来るならば、伊藤書誌と併せて参考にしていただきたい。

なお、スターン書誌のこれまでの代表的なものには次の二点がある。

1. Lodwick Hartley. *Laurence Sterne in the Twentieth Century: An Essay and a Bibliography of Sternean Studies, 1900-1965*. Chapel Hill: Univ. of North Carolina Press, 1966.
2. \_\_\_\_\_. *Laurence Sterne: An Annotated Bibliography, 1965-1977*. Boston: G. K. Hall, 1978.

この他に、重要な情報を与えてくれる書誌として、

3. Melvyn New, ed. *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman*. [New Casebooks] (Basingstoke & London: Macmillan Education, 1992): "Further Reading," 174-84.
4. Laurence W. Mazzeno. *The British Novel, 1680-1832: An Annotated Bibliography*. [Magill Bibliographies] London: The Scarecrow Press; Englewood Cliffs, N. J.: Salem Press, 1997.

がある。以上はいわゆる 'annotated bibliography' であるが、同種の定期刊行物として、

5. *The Eighteenth Century : A Current Bibliography, new series*. New York : AMS Press. 'New Series' 以前は Univ. of Iowa Press より刊行 (1971-)。

6. *The Year's Work in English Studies*. [The English Association] Oxford : Basil Blackwell. (特にこの中の「18世紀」の項)

が有益である。5は特に'narrative bibliography'と銘打たれている。

さらに、代表的なスターン論を抜粋・収録したユニークな書誌資料として次のものが注目される。Norton版 *Tristram Shandy* の後に収録された論文類を拡充した形のもので、今日のスターン批評の動向を見るのに最適であろう。

7. Marie Lazzari, ed. *Literature Criticism from 1400 to 1800* (Farmington Hills, MI : The Gale Group, 1999) : "Laurence Sterne," 243-386.

## I. 作品・書簡・伝記

### Works

1. Cross, Wilbur L., ed. *The Complete Works of Laurence Sterne*. 6vols. New York : AMS Press, 1970. Reprint of 1904 edn.

### *Tristram Shandy*

2. Anderson, Howard, ed. *Tristram Shandy*. New York : W. W. Norton, 1980.

3. Conrad, Peter. Introduction. *Tristram Shandy*. Everyman's Library. New York : Alfred A. Knopf, 1991.

4. New, Melvyn and Joan, eds. *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman*. The Florida Edition of the Works of Laurence Sterne, vols. 1-2, *The Text* ; vol. 3, *The Notes*, by Melvyn

New, Richard A. Davies and W. G. Day. Gainesville : University Presses of Florida, 1978, 1984.

5. Petrie, Graham, ed., with an introduction by Christopher Ricks. *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman*. Harmondsworth, Middlesex : Penguin Books, 1985.
6. Ross, Ian Campbell, ed. *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman*. Oxford : Clarendon Press, 1983.
7. Work, James Aiken, ed. *The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman*. New York : The Odyssey Press, 1940.

#### *A Sentimental Journey*

8. Jack, Ian, ed. *A Sentimental Journey through France and Italy By Mr. Yorick with The Journal to Eliza and A Political Romance*. London : Oxford University Press, 1984.
9. Keymer, Tom, ed. *A Sentimental Journey and Other Writings*. [The Everyman Library] London : J. M. Dent ; Vermont : Charles E. Tuttle, 1994. Including *A Political Romance*, *Memoirs of the Life and Family of the late Rev. Mr. Laurence Sterne*, *An Impromptu*, and *A Fragment in the Manner of Rabelais*.
10. Petrie, Graham, ed., with an introduction by A. Alvarez. *A Sentimental Journey*. Harmondsworth, Middlesex : Penguin Books, 1986.
11. Stout, Gardner D., Jr., ed. *A Sentimental Journey through France and Italy by Mr. Yorick*. Berkeley and Los Angeles : University of California Press, 1967.

#### *The Sermons of Mr. Yorick*

12. David, Marjorie S., ed. *The Sermons of Mr. Yorick by Laurence*

*Sterne*. [Fyfield Books] Cheadle, Cheshire : Carcanet Press, 1973.

13. *The Sermons of Laurence Sterne*. The Florida Edition of the Works of Laurence Sterne. Vol. 4, *the Text*, ed. Melvyn New. Vol. 5, *the Notes*, by Melvyn New. Gainesville : University Press of Florida, 1996.

#### *A Political Romance and The Journal to Eliza*

14. Monkman, Kenneth, ed. with note. Laurence Sterne, *A Political Romance, 1759*. Menston, Yorkshire : Scolar Press, 1971.
15. Shaw, Margaret R. B., introduction, and foreword by Charles Whibley. Laurence Sterne, *Second Journal to Eliza : Hitherto known as Letters Supposed To Have Been Written By Yorick and Eliza, but now shown to be a later version of the Journal To Eiza*. London : G. Bell, 1929. Transcription from the copy in the British Museum.

#### Letters

16. Curtis, Lewis Perry, ed. *Letters of Laurence Sterne*. Oxford : Clarendon Press, 1935.

#### Biography

17. Cash, Arthur Hill. *Laurence Sterne : The Early and Middle Years*. London : Methuen, 1975.
18. \_\_\_\_\_. *Laurence Sterne : The Later Years*. London : Methuen, 1986.
19. Cross, Wilbur L. *The Life and Times of Laurence Sterne*. 3<sup>rd</sup> ed. New Haven : Yale University Press, 1929.
20. Hartley, Lodwick. *Laurence Sterne : A Biographical Essay*. Chapel

Hill : University of North Carolina Press, 1968.

21. Monkman, Kenneth. Introduction and commentary. *Sterne's Memoirs : a hitherto unrecorded holograph now brought to light in facsimile*. Privately printed for the Laurence Sterne Trust. Coxwold, North Yorkshire : The Laurence Sterne Trust, 1985.
22. Shaw, Margaret R. B. *Laurence Sterne : The Making of a Humorist, 1713-1762*. London : The Richards Press, 1957.
23. Thomson, David. *Wild Excursions : The Life and Fiction of Laurence Sterne*. London : Weidenfeld & Nicolson, 1972.

Miscellaneous

24. Bandy, Anne, and Geoffrey Day, eds. *The Clockmakers Outcry against the author of The Life and Opinions of Tristram Shandy*. Winchester : Winchester College Printing Society, 1991.
25. [Hall-Stevenson, John.] *Yorick's Sentimental Journey Continued : to which is prefixed Some Account of the Life and Writings of Mr. Sterne, by Eugenius*. London : The Georgian Society, 1902. Including *A Political Romance*.
26. MacNally, Leonard. *Tristram Shandy*. (Adapted play, 1783) Ed. Geoffrey Day, Jessy van Geloven, and Peter de Voogd. Privately printed, 1991. The facsimile edition offered to Kenneth Monkman on the occasion of his eightieth birthday by his co-editors of *The Shandean*.

\*この他に、Garland Publishing (New York) から雑録集のいわゆる「スターニアナ」*Sterniana* のシリーズがある。

邦訳資料

27. 村上至孝訳『センチメンタル・ジャーニィ』弘文堂（世界文庫）1947年

28. 織田正信訳『風流漂泊』新月社 1948年
29. 山口孝子・渡邊萬里訳『センチメンタル・ジャーニー』新潮社（新潮文庫）  
1952年
30. 松村達雄訳『センチメンタル・ジャーニー』岩波書店（岩波文庫）1952年
31. 朱牟田夏雄訳『トリストラム・シャンディ』岩波書店（岩波文庫）1969年
32. 小林 亭訳『センチメンタル・ジャーニー』朝日出版社 1984年
33. 綱島 窃訳『トリストラム・シャンディ氏の生活と意見』八潮出版社 1987  
年

## II. 研究書・研究論文集・紀要論文類

34. Alter, Robert. *Partial Magic : The Novel as a Self-Conscious Genre*. Berkeley, Los Angeles, & London : University of California Press, 1975.
35. Anderson, Howard. "Structure, Language, Experience in the Novels of Laurence Sterne." In J. M. Armistead, ed., *The First English Novelists : Essays in Understanding*. Knoxville, Tenn. : University of Tennessee Press, 1985.
36. Auty, Susan G. "Smollett and Sterne and Animal Spirits : *Tristram Shandy*." *The Comic Spirit of Eighteenth-Century Novels*. Port Washington, N.Y. : Kennikat Press, 1975.
37. Bakhtin, M. M. *The Dialogic Imagination*. Austin : University of Texas Press, 1981.
38. Bate, W. Jackson. *The Burden of the Past and the English Poet*. New York and London : W. W. Norton, 1972.
39. Batten, Charles L., Jr. *Pleasurable Instruction : Form and Convention in Eighteenth-Century Travel Literature*. Berkeley, Los Angeles,

- & London : University of California Press, 1978.
40. Battestin, Martin C. *The Providence of Wit : Aspects of Form in Augustan Literature and Arts*. London : Oxford University Press, 1974.
  41. \_\_\_\_\_. "Sterne among the Philosophes : Body and Soul in *A Sentimental Journey*." *Eighteenth-Century Fiction*, Vol. 7, No. 1 (October 1994), 17-36.
  42. Bloom, Harold, ed. *Laurence Sterne's 'Tristram Shandy.'* [Modern Critical Interpretations]. New York : Chelsea House, 1987.
  43. Booth, Wayne C. *The Rhetoric of Fiction*. Chicago & London : The University of Chicago Press, 1961 ; 1983.
  44. Bowden, Martha F. "Guy Fawkes, Dr. Slop, and the Actions of Providence." *Philological Quarterly*, Vol. 76, No. 4 (Fall 1997), 437-53.
  45. Bradbury, Malcolm. *Possibilities : Essays on the State of the Novel*. London : Oxford University Press, 1973.
  46. Brissenden, R. F. *Virtue in Distress : Studies in the Novel of Sentiment from Richardson to Sade*. London : Macmillan ; New York : Barnes & Noble—Harper & Row, 1974-75.
  47. Brooks, Douglas. "Sterne : *Tristram Shandy*." *Number and Pattern in the Eighteenth-Century Novel : Defoe, Fielding, Smollett, and Sterne*. London : Routledge & Kegan Paul, 1973.
  48. Butt, John. *The Mid-Eighteenth Century*. Edited and compiled by Geoffrey Carnall. [The Oxford History of English Literature VIII]. Oxford : Clarendon Press, 1979.
  49. Byrd, Max. *Tristram Shandy*. London : George Allen & Unwin, 1985.
  50. Cash, Arthur Hill. "The Sermon in *Tristram Shandy*." *ELH*, XXXI (1961), 395-417.
  51. \_\_\_\_\_. "Voices Sonorous and Cracked : Sterne's Pulpit Oratory." In

- Larry S. Champion, ed., *Quick Springs of Sense : Studies in the Eighteenth Century*. Athens, Ga. : University of Georgia Press, 1974.
52. \_\_\_\_\_, and John Stedmond, eds. *The Winged Skull : Papers from the Laurence Sterne Bicentenary Conference*. London : Methuen ; Kent, Ohio : Kent State University Press, 1971.
  53. Chibka, Robert L. "The Hobby-Horse's Epitaph : *Tristram Shandy*, *Hamlet*, and the Vehicles of Memory." *Eighteenth-Century Fiction*, Vol. 3, No. 2 (January 1991), 125-51.
  54. Clifford, James L., ed. *Eighteenth-Century English Literature : Modern Essays in Criticism*. New York : Oxford University Press, 1959 ; 1969.
  55. Conrad, Peter. *Shandyism : The Character of Romantic Irony*. Oxford : Basil Blackwell, 1978.
  56. Damrosch, Leopold, Jr. *Modern Essays on Eighteenth-Century Literature*. New York and Oxford : Oxford University Press, 1988.
  57. De Porte, Michael V. *Nightmares and Hobbyhorses : Swift, Sterne, and Augustan Ideas of Madness*. San Marino, Cal. : Huntington Library Publications, 1974.
  58. Donovan, Robert A. *The Shaping Vision : Imagination in the English Novel from Defoe to Dickens*. Ithaca, N. Y. : Cornell University Press, 1966 ; 1976.
  59. Doody, Margaret A. "Shandyism, Or, the Novel in Its Assy Shape : African Apuleius, *The Golden Ass*, and Prose Fiction." *Eighteenth-Century Fiction* ["Reconsidering the Rise of the Novel"], Vol. 12, Nos. 2-3 (January-April 2000), 435-57.
  60. Dussinger, John A. *The Discourse of the Mind in Eighteenth-Century Fiction*. The Hague : Mouton Press, 1974.

61. Ehlers, Leigh A. "Mrs. Shandy's 'Lint and Basilicon': The Importance of Women in *Tristram Shandy*." *South Atlantic Review*, 46 (1981), 61-75.
62. Ehrenpreis, Irvin. *Literary Meaning and Augustan Values*. Charlottesville: University Press of Virginia, 1974.
63. Ellis, Markman. *The Politics of Sensibility: Race, Gender and Commerce in the Sentimental Novel*. [Cambridge Studies in Romanticism: 18]. Cambridge: Cambridge University Press, 1996.
64. Erickson, Robert A. *Mother Midnight: Birth, Sex, and Fate in Eighteenth-Century Fiction*. New York: AMS Press, 1986.
65. Fanning, Christopher. "Sermons on Sermonizing: The Pulpit Rhetoric of Swift and Sterne." *Philological Quarterly*, Vol. 76, No. 4 (Fall 1997), 413-36.
66. Ferriar, John. *Illustrations of Sterne: with Other Essays and Verses*. New York: Garland Publishing, 1971 [1798].
67. Fluchère, Henri. *Laurence Sterne: From Tristram to Yorick*. Trans. Barbara Bray. London: Oxford University Press, 1965. An abridged edn of book first published Paris, 1961.
68. Fowler, Roger. *Linguistics and the Novel*. London: Methuen, 1977.
69. Fredman, Alice G. *Diderot and Sterne*. New York: King's Crown Press, 1955.
70. Furst, Lillian. "Laurence Sterne: *Tristram Shandy*, 1760-67." *Fictions of Romantic Irony*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1984.
71. Fussell, Paul. *The Rhetorical World of Augustan Humanism: Ethics and Imagery from Swift to Burke*. Oxford: Clarendon Press, 1965.
72. Hagstrum, Jean H. *Sex and Sensibility: Ideal and Erotic Love from*

- Milton to Mozart*. Chicago & London: The University of Chicago Press, 1980.
73. Holtz, William. *Image and Immortality: A Study of 'Tristram Shandy.'* Providence, R. I.: Brown University Press, 1970.
  74. Howes, Alan B. *Yorick and the Critics: Sterne's Reputation in England, 1760-1868*. Hamden, Conn.: Archon Books, 1971 [1958].
  75. \_\_\_\_\_. *Sterne: The Critical Heritage*. London: Routledge & Kegan Paul, 1974.
  76. Iser, Wolfgang. *Laurence Sterne: 'Tristram Shandy.'* [Landmarks of World Literature]. Cambridge: Cambridge University Press, 1988.
  77. Karl, Frederick R. *The Adversary Literature: The English Novel in the Eighteenth Century, A Study in Genre*. New York: Farrar, Straus, and Giroux, 1974.
  78. Kay, Carol. *Political Constructions: Defoe, Richardson, and Sterne in Relation to Hobbes, Hume, and Burke*. Ithaca, N. Y.: Cornell, 1988.
  79. Konigsberg, Ira. *Narrative Techniques in the English Novel: Defoe to Austen*. Hamden, Conn.: Archon Books, 1985.
  80. Kraft, Elizabeth. *Character and Consciousness in Eighteenth-Century Comic Fiction*. Athens, Ga.: The University of Georgia Press, 1992.
  81. Krieger, Murray. *The Classic Vision: The Retreat from Extremity*. [Visions of Extremity in Modern Literature, II]. Baltimore and London: The Johns Hopkins University Press, 1973 [1971].
  82. Laden, Marie-Paule. *Self-Imitation in the Eighteenth-Century Novel*. Princeton, N. J.: Princeton University Press, 1987.
  83. Lamb, Jonathan. "Sterne's System of Imitation." *Modern Language*

- Review*, 76 (1981), 794-810.
84. \_\_\_\_\_. *Sterne's Fiction and the Double Principle*. Cambridge: Cambridge University Press, 1989.
85. Lanham, Richard A. *'Tristram Shandy': The Games of Pleasure*. Berkeley, Cal.: University of California Press, 1973.
86. Leewen, Eva C. van. *Sterne's 'Journal to Eliza': A Semiological and Linguistic Approach to the Text*. Tübingen: Narr, 1981.
87. Loveridge, Mark. *Laurence Sterne and the Argument about Design*. London: Macmillan, 1982.
88. \_\_\_\_\_. "Stories of COCKS and BULLS: The Ending of *Tristram Shandy*." *Eighteenth-Century Fiction*, Vol. 5, No. 1 (October 1992), 35-54.
89. Lynch, Deidre. "Personal Effects and Sentimental Fictions." *Eighteenth-Century Fiction* ["Reconsidering the Rise of the Novel"], Vol. 12, Nos. 2-3 (January-April 2000), 345-68.
90. Markley, Robert. "Sentimentality as Performance: Shaftesbury, Sterne, and the Theatrics of Virtue." In F. Nussbaum and L. Brown, eds., *The New Eighteenth Century: Theory • Politics • English Literature*. New York & London: Methuen, 1987.
91. Matteo, Sante. *Textual Exile: The Reader in Sterne and Foscolo*. New York; Bern; Frankfurt am Main: Peter Lang, 1985.
92. Mazella, David. "'Be wary, Sir, when you imitate him': The Perils of Didacticism in *Tristram Shandy*." *Studies in the Novel*, Vol. XXXI, No. 2 (Summer 1999), 152-77.
93. Mckillop, Alan D. *The Early Masters of English Fiction*. Lawrence, Kan.: University of Kansas Press, 1956.
94. McMaster, Juliet. "Walter Shandy, Sterne, and Gender: A Feminist Foray." *English Studies in Canada*, 15 (1989), 441-58.

95. Middendorf, John H. *English Writers of the Eighteenth Century*. New York & London : Columbia University Press, 1971.
96. Moglen, Helen. *The Philosophical Irony of Laurence Sterne*. Gainesville : University Presses of Florida, 1975.
97. Mullan, John. *Sentiment and Sociability : The Language of Feeling in the Eighteenth Century*. Oxford : Clarendon Press, 1988.
98. Myer, Valerie Grosvenor, ed. *Laurence Sterne : Riddles and Mysteries*. London and Totowa, N. J. : Vision and Barnes & Noble, 1984.
99. New, Melvyn. *Laurence Sterne as Satirist : A Reading of 'Tristram Shandy.'* Gainesville : University of Florida Press, 1969.
100. \_\_\_\_\_. "Sterne, Warburton, and the Burden of Exuberant Wit." *Eighteenth-Century Studies*, 15 (1982), 245-74.
101. \_\_\_\_\_, ed. *Approaches to Teaching Sterne's 'Tristram Shandy.'* New York : The Modern Language Association of America, 1989.
102. \_\_\_\_\_. *'Tristram Shandy' : A Book for Free Spirits*. [Twayne's Masterwork : 132]. New York : Twayne Publishers, 1994.
103. \_\_\_\_\_, ed. *Critical Essays on Laurence Sterne*. New York : G. K. Hall, 1998.
104. Novak, Maximilian E., ed. *English Literature in the Age of Disguise*. Berkeley, Los Angeles, and London : University of California Press, 1977.
105. Nuttall, A. D. *A Common Sky : Philosophy and the Literary Imagination*. London : Chatto & Windus, 1974.
106. Oates, John C. T. *Shandyism and Sentiment*. Cambridge : Cambridge Bibliographical Society, 1968.
107. Pierce, David, and Peter de Voogd, eds. *Laurence Sterne in Modernism and Postmodernism*. [Postmodern Studies 15] Amsterdam ; Atlanta, Ga. : Rodopi, 1996.

108. Piper, William B. *Laurence Sterne*. New York : Twayne, 1965.
109. Preston, John. *The Created Self : The Reader's Role in Eighteenth-Century Fiction*. London : Heinemann, 1970.
110. Rabb, Melinda A. "Engendering Accounts in Sterne's *Tristram Shandy*." In James Engell, ed., *Johnson and His Age*. Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 1984.
111. Read, Herbert. *English Prose Style*. Boston : Beacon Press, 1952.
112. Reed, Walter L. "Tristram Shandy : Displacement as Signification." *An Exemplary History of the Novel : The Quixotic Versus the Picaresque*. Chicago : University of Chicago Press, 1981.
113. Rogers, Pat. *The Augustan Vision*. New York : Barnes & Noble, 1974.
114. Rosenblum, Michael. "The Sermon, the King of Bohemia, and the Art of Interpolation in *Tristram Shandy*." *Studies in Philology*, Vol. LXXV, No. 4 (October 1978), 472-91.
115. Sallé, Jean-Claude. "A State of Warfare : Some Aspects of Time and Chance in *Tristram Shandy*." In Larry S. Champion, ed., *Quick Springs of Sense*. Athens, Ga. : The University of Georgia Press, 1974.
116. Schilling, Bernard N., ed. *Essential Articles : for the Study of English Augustan Backgrounds*. Hamden, Conn. : Archon Books, 1961.
117. Seidel, Michael. *Satiric Inheritance : Rabelais to Sterne*. Princeton : Princeton University Press, 1979.
118. Skinner, Gillian. *Sensibility and Economics in the Novel, 1740-1800: The Price of a Tear*. Basingstoke & London : Macmillan ; New York : St. Martin's Press, 1999.
119. Smyth, John V. *A Question of Eros : Irony in Sterne, Kierkegaard, and Barthes*. Gainesville : University Press of Florida, 1986.
120. Spacks, Patricia M. "The Beautiful Oblique: *Tristram Shandy*."

- Imagining a Self : Autobiography and Novel in Eighteenth-Century England.* Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 1976.
121. Stedmond, John M. *The Comic Art of Laurence Sterne : Convention and Innovation in 'Tristram Shandy' and 'A Sentimental Journey.'* Toronto : University of Toronto Press, 1967.
  122. Stevenson, John A. "Tristram Shandy : The Laughter of Feeling." *The British Novel, Defoe to Austen.* Boston : Twayne, 1990.
  123. Swearingen, James E. *Reflexivity in 'Tristram Shandy' : An Essay in Phenomenological Criticism.* New Haven, Conn. : Yale University Press, 1977.
  124. Traugott, John. *Tristram Shandy's World : Sterne's Philosophical Rhetoric.* New York : Russell & Russell, 1970 [1954].
  125. \_\_\_\_\_, ed. *Laurence Sterne : A Collection of Critical Essays.* [Twentieth Century Views] Englewood Cliffs, N. J. : Prentice-Hall, 1968.
  126. Tucker, Susie I. *Protean Shape : A Study in Eighteenth-Century Vocabulary and Usage.* London : Athlone Press, 1967.
  127. Tuveson, Ernest. "Locke and Sterne." In S. P. Rosenbaum, ed., *English Literature and British Philosophy.* Chicago and London : University of Chicago Press, 1972.
  128. Van Ghent, Dorothy. *The English Novel : Form and Function.* [Harper Torchbooks] New York : Harper & Row, 1961.
  129. Van Sant, Ann J. "Locating Experience in the Body : The Man of Feeling." *Eighteenth-Century Sensibility and the Novel : The Senses in Social Context.* Cambridge : Cambridge University Press, 1993.
  130. Warner, John M. *Joyce's Grandfathers : Myth and History in Defoe,*

精選参考書誌

- Smollett, Sterne, and Joyce*. Athens, Ga. : University of Georgia Press, 1993.
131. Weinstein, Arnold. *Fictions of the Self : 1550-1800*. Princeton, N. J. : Princeton University Press, 1981.
132. Woolf, Virginia. *Collected Essays, III*. Ed. Leonard Woolf. London : Chatto & Windus, 1967.
133. Wright, Arnold, and William Lutley Sclater. *Sterne's Eliza : Some Account of her Life in India : with her Letters written between 1757 and 1774*. London : William Heinemann, 1922.
134. Yoseloff, Thomas. *Laurence Sterne : A Fellow of Infinite Jest*. London : Francis Aldor, 1948.

邦文文献

135. 岡倉由三郎『スターン』（研究社英米文学評伝叢書）研究社，1934年
136. 村上至孝『笑いの文学——スターンとスモレット』研究社，1955年
137. 和田敏英『イギリス十八世紀小説論——言葉とイメジャリをめぐる』開文社，1987年（『トリストラム・シャンディ』管見）
138. 松尾力雄『ローレンス・スターン研究』晃洋書房，1990年
139. 能美龍雄『ロレンス・スターンの文学——スターンとその人物たち』松柏社，1994年
140. 吉田安雄『イギリス小説研究——テキストの註釈と主題の解明』研究社，1994年（I：ロレンス・スターン，1. *Tristram Shandy* の英語——築城の術語，2. 「スラウケンベルギウスの物語」——『トリストラム・シャンディ』抄訳）
141. 由良君美『メタフィクションと脱構築』文遊社，1995年
142. 伊藤 誓『スターン文学のコンテクスト』法政大学出版局，1995年
143. 日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究』[日本ジョンソン協会設立30周年記念] 雄松堂，1996年：

- ・三浦義章「書物・会話・説教—— *Tristram Shandy* 第二巻における口頭表現と文字・活字表現」
  - ・能美龍雄「スターンとダッシュ——『センチメンタル・ジャーニー』の場合」
144. 鈴木善三『イギリス諷刺文学の系譜』研究社，1996年（第六章：メニッポスの小説〈十八世紀〉）
145. 有馬哲夫「電子メディアによる文学研究の新展開（2）：インタラクティブ・フィクションと『トリストラム・シャンディ』」『英語青年』1997年3月号
146. 高山 宏「〈トリストラム・シャンディ〉もう結構な話」大岡信他編『世界文学のすすめ』岩波文庫，1997年

### III. 研究誌

*The Shandean, An Annual Volume Devoted to Laurence Sterne and his Works, 1989 — 1998* (The Laurence Sterne Trust) :

Vol. I (1989) :

Nicolas Barker, 'The Library Catalogue of Laurence Sterne'

W. G. Day, 'The Oates Collection, Cambridge University Library'

Anne Bandry, 'First Reactions to *Tristram Shandy* in the Oates Collection'

Kenneth Monkman, 'More of Sterne's *Politicks* (1741-2)'

Peter de Voogd, 'Stephen Croft's Chimney-Piece; or, Was This the Fireplace?'

Kenneth Monkman, 'Two Sterne Letters and Two Fragments'

John Riely, 'Sterne in Paris, an Unpublished Letter'

Peter de Voogd, 'A Portrait and a Flourish'

精選參考書誌

- Erich Reissig, 'Laurence Sterne Televised'  
Melvyn New, 'The Arion Press Edition of *Tristram Shandy*'  
Judith Hawley, (review) 'Two Textbooks on *Tristram Shandy*'  
W. G. Day, (review) 'Teaching Laurence Sterne'  
Donald S. Cummings, '*A Sentimental Journey*, Continued'

Vol. II (1990) :

- C. B. L. Barr and W. G. Day, 'Sterne and York Minster Library'  
David McKitterick, 'In Memoriam J. C. T. Oates'  
Anne Bandry, 'Later Reactions to *Tristram Shandy* in the Oates Collection'  
Kenneth Monkman, 'Sterne and the '45 (1743-8)'  
C. Helen Brock, 'Mr Daniel Draper of the East India Company'  
Kenneth Monkman, 'Two More Unpublished Sterne Letters'  
Paul Franssen, '“Great Lessons of Political Instruction” : The Earl of Clonmell Reads Sterne'  
Serge Soupel, 'Lavieille, Hédouin, Leloir and the “Voyage Sentimental”'  
Kenneth Monkman, 'Books Sterne Owned?'  
Jacques Berthoud, 'Presentation Address'  
Peter de Voogd, '“O. C.” and the Marbled Page'  
Ian Campbell Ross, 'The World's Classics' Edition of *Tristram Shandy* : Two Corrections'  
W. G. Day, (review) 'Maurice Couturier, *Gutenberg, Sterne and Nabokov*'  
Peter de Voogd, (review) 'Jonathan Lamb, *Sterne's Fiction and the Double Principle*'

Vol. III (1991) :

- Judith Hawley, '“Hints and Documents” (1): A Bibliography for

*Tristram Shandy*'

Jacques Berthoud, 'The Beggar in *A Sentimental Journey*'

Melvyn New, 'Swift as Ogre, Richardson as Dolt : Rescuing Sterne from  
the Eighteenth Century'

Michael J. O'Shea, 'Laurence Sterne's Display of Heraldry'

Diana Patterson, 'Tristram's Marblings and Marblers'

Kenneth Monkman, 'Sterne's Farewell to Politics'

Anne Bandry, 'The Publication of the Spurious Volumes of *Tristram  
Shandy*'

Peter de Voogd, 'Henry William Bunbury, Illustrator of *Tristram  
Shandy*'

Madeleine Descargues, 'Ignatius Sancho's Letters'

Kenneth Monkman, 'A Letter by (and a Poem to ?) Lydia, and a Letter  
by Elizabeth'

The *Index Librorum Prohibitorum* and Sterne, and Other Brief Notes

Vol. IV (1992) :

Wolfgang Hörner, 'Lorenz Sterne (I) : Early German Translations, 1763  
-1800'

Judith Hawley, '"Hints and Documents"(2): A Bibliography for *Tris-  
tram Shandy*'

Agnes Zwaneveld, 'The Rhetoric of *Tristram Shandy*'s First Chapter'

David McKittrick, '*Tristram Shandy* in the Royal Academy : A Group  
of Drawings by John Nixon'

Kenneth Monkman, 'Did Sterne Contrive to Publish a "Sermon" in  
1738 ?'

Norman Simms, 'The Missing Jews and Jewishness in *Tristram Shandy*'

Anne Bandry and W.G. Day, 'The Third Edition of the *Clockmakers  
Outcry*'

精選參考書誌

- Madeleine Descargues, 'In Pursuit of Sterne's Epistolary Persona'
- Peter de Voogd, 'The Letters of Laurence Sterne'
- Richard Forrester, 'Uncle Jaques Sterne'
- A. Michael Mennim, 'Shandy Hall, Coxwold'
- Anne Bandry, 'Early Advertisements'
- W. G. Day, 'Another Bunbury'
- Notes on Ackroyd, Scola, Naughty Ballads and Welsh Bards
- René Bosch, (review) 'Anne Bandry, *Tristram Shandy : Créations et imitations en Angleterre en XVIIIe siècle*'
- W. G. Day, (review) '*Tristram Shandy* in Random Century's Everyman Edition'
- Wolfgang Hörner, (review) 'Michael Walter's German Translation of *Tristram Shandy*'
- Vol. V (1993) :
- Tom Keymer, 'Marvell, Thomas Hollis, and Sterne's Maria : Parody in *A Sentimental Journey*'
- Kenneth Monkman, 'Towards a Bibliography of Sterne's Sermons'
- David Alexander, 'Sterne, the 18th-Century Print Market, and the Prints in Shandy Hall'
- Agnes Zwaneveld, 'Laurence Sterne in Holland : The Eighteenth Century'
- Peter de Voogd, 'Laurence Sterne in Dutch (18th Century) : A Bibliography'
- Melvyn New, 'Sterne as Preacher : A Visit to St. Michael's Church, Coxwold'
- René Bosch, (review) 'Madeleine Descargues, *Correspondances : étude critique de la correspondance de Laurence Sterne dans son oeuvre*'
- W. G. Day, (review) 'Tom Keymer (ed.), *A Sentimental Journey and*

*Other Writings* (Everyman Library Edition, 1994)'

Wim Tigges, (review) 'Pieter Verhoeff, Peter de Voogd, *Brieven van Sterne*'

Vol. VI (1994) :

René Bosch, '“Character” in Reynolds' Portrait of Sterne'

Luis Pegenaute, 'The Unfortunate Journey of Laurence Sterne through Spain : The Translations of his Works into Spanish'

Paul Goring, 'Illustration of *A Sentimental Journey* in the 1920s'

Anne Bandry, 'The First French Translation of *Tristram Shandy*'

Peter de Voogd, 'Robert Dighton's Twelve "*Tristram Shandy*" Prints'

Carol Watts, 'The Modernity of *Tristram Shandy*'

Anne Bandry, (review) 'Battestin, Denizot, Descargues, Dupas, Montandon, Mullan, Ogée, Tadié, Viviès'

W. G. Day, (review) 'Melvyn New, *Telling New Lies, Tristram Shandy* (Macmillan Casebook) ; and *Tristram Shandy* (Twayne Masterworks)'

Vol. VII (1995) :

Duncan Large, '“The Freest Writer” : Nietzsche on Sterne'

W. G. Day, 'Michael Angelo Rooker's Illustrations to *Tristram Shandy*'

Martha Bowden, 'The Liturgical Shape of Life at Shandy Hall'

Martin Rowson, 'Hyperboling Gravity's Ravelin : A Comic Book Version of *Tristram Shandy*'

Fred C. Pinnegar, 'The Groin Wounds of Tristram and Uncle Toby'

Kenneth Monkman, 'Towards a Bibliography of Sterne's *Sermons* : Some Corrections and Slight Additions'

Notes on Shandean Marblings, Jonathan Coe, Barbara Pym, Electronic Sterne, Fortifications, etc.

Alun David, (review) 'David Alexander, *Affecting Moments*'

Peter de Voogd, (review) 'Agnes Zwaneveld, *A Bookseller's Hobby-Horse*'

Wolfgang Hörner, (review) 'Michael Walter, *Leben und Ansichten von Tristram Shandy*'

Wolfgang Hörner, (review) 'Martina Michelsen, *Weg vom Wort- zum Gedankenstrich*'

Tom Keymer, (review) '*En Følsom Reise gjennom Frankrike og Italia*'

Paul Franssen, (review) 'Laurence Sterne, *Herr Tristram Shandys Liv og Meninger*'

Marina Frasca-Spada, (review) 'Laurence Sterne, *Dieci sermoni di Mr. Yorick*'

Announcing Sterne in (Post)Modernism

Vol. VIII (1996) :

Shigemitsu Ishii, 'Rorensu Sutahn : Sterne in Japan'

Tom Keymer, 'Dying by Numbers : *Tristram Shandy* and Serial Fiction (1)'

Stephen Clarke, 'Sterne in Norfolk'

Olivia Santovetti, 'The Adventurous Journey of Lorenzo Sterne in Italy'

René Bosch, 'Sterne and Voltaire in Purgatory : A Prophecy by W. J. Mickle'

Norman Simms, 'Stuffing Sausages as Satura and Foreplay : Apuleius's Lucius and Trim's Brother Tom'

Serge Soupel, 'Marold's Voyage Sentimental'

Notes on the Archers, Mastermind, Byatt, Electronic Sterne, foreign translations, &.

Martin Rowson, 'Remember, Remember : A Note on November 5th'

Peter de Voogd, 'Sterne All the Fashion : A Sentimental Fan'

(with a cut out and pop up colour facsimile of *A Sentimental Journey*)

fan, 1796)

Peter de Voogd, (review) 'Chadwyck-Healey's Sterne on CD-ROM'

W. G. Day, 'Wordsworth Classics Editions of Sterne'

Agnes Bandry, 'Sterne in Modernism and Postmodernism'

Paul Goring, 'Rowson's Cartoon Version of *Tristram Shandy*'

J. T. Parnell, 'The Florida Edition of Sterne's *Sermons*'

Vol. IX (1997) :

Harriet Guest, 'Sterne, Elizabeth Draper, and Drapery'

Tom Keymer, 'Dying by Numbers: *Tristram Shandy* and Serial Fiction  
(2)'

Corinne Fourny, 'Dialogues in *Tristram Shandy*: Openness or Control?'

W. G. Day, 'Charles Robert Leslie's "My Uncle Toby and the Widow  
Wadman": The Nineteenth-Century Icon of Sterne's Work'

Joaquim Mallastrè, 'Sterne in Catalan: Notes on Translation'

Tim Parnell, 'A Story Painted to the Heart? *Tristram Shandy* and  
Sentimentalism Reconsidered'

W. G. Day, 'Sterne and French Prisoners of War'

Notes on Sterne in Polish, Italian, Catalan, Galician, on tape, and on the  
World Wide Web

Peter de Voogd, (review) 'The New Penguin edition of *Tristram  
Shandy*, edited by Melvyn New'

Vol. X (1998) :

W. G. Day, 'Kenneth Monkman 17 April 1911–22 March 1998'

Kenneth Monkman, 'Shandean Race Horses'

Arthur S. Marks, 'Connections: Sterne, Shandy and North Carolina'

Kenneth Monkman, continued by W. G. Day, 'The Skull'

Peter de Voogd, 'The Oswald Papers'

Gisèle Gourdon, 'Confinements and Flights of the Characters in *Tris-*

*tram Shandy*'

Kenneth Monkman, 'A Pirate Edition of *A Sentimental Journey*'

Peter de Voogd, 'Armorial Oddities'

Notes on William Jackson, Sterne in Hawaii, a Crossword, Sterne in Hebrew, and Odd Appearances

Alan Anthony, 'Anatomy Lesson: A Poem'

Claudia Nina, (review) 'Manuel Portela, *A vida e as opiniões de Tristram Shandy* ; and José Paulo Paes, *A vida e As Opiniões do Cavaleiro Tristram Shandy*'

René Bosch, (review) 'Elizabeth Kraft, *Sterne Revisited* (Twayne)'

『*New Perspective*』(新英米文学研究会), No. 167, Spring/Summer 1998:

\*特集: 『トリストラム・シャンディ』

真篠 久子 『トリストラム・シャンディ』にみるスターンの思想——登場人物をめぐって——

加藤 一郎 『トリストラム・シャンディ』中の断片について(スターンの言語観にも関連して)

松本 節也 『トリストラム・シャンディ』の読み方——試論

塩田 勉 『トリストラム・シャンディ』と『ドン・キホーテ』——比較文化・文学論的考察——

吉田 俊実 『トリストラム・シャンディ』における時間と記憶の再編成

坂本 恵・須川亜紀子 <シンポジウム>: ローレンス・スターン『トリストラム・シャンディ』をどう読むか(報告)

## スターン略年表

- 1713 11月24日アイルランド、ティベレアリ州クロンメルにて生まれる。父ロジャーは歩兵少尉(連隊旗手)、母アグネスは従軍商人の義理の娘だった。ローレンスは七人兄弟の長男。ローレンスの曾祖父のリチャード・スターンは、王政復古後ヨーク大主教を努めた。
- 1723 ヨーク州、ウッドハウスの伯父リチャードにあずけられ、ハリファックス近郊の文法学校(グラマースクール)に入学。
- 1731 父ロジャー、ジャマイカ島で熱病のため死去。
- 1733 ケンブリッジ大学ジーザス・カレッジに入学。翌年、曾祖父リチャードの創設した奨学金の給費生となる。大学時代の友人に、ジョン・ファウンテン(のちにヨーク大聖堂首席司祭)がおり、また終生の親友、ジョン・ホール＝スティヴンソンを得た。
- 1737 B. A. の学位を得て大学を卒業。3月、聖職者の資格を得て、ハンティンドン州セント・アイヴズの副牧師となる。
- 1738 8月、ヨーク州サットン・イン・ザ・フォレストの教区牧師に。
- 1739 エリザベス・ラムレイを知る。「青鞥派」(ブルーストックィング)のモンタギュー夫人、エリザベスは彼女のいとこにあたる。
- 1740 M. A. の学位を受ける。
- 1741 ヨーク大聖堂参事会に加わり、ギヴンデイルの聖職禄を受ける。エリザベス・ラムレイと結婚。
- 1744 ヨーク州スティリントンの教区牧師を兼任する。
- 1745 翌年にかけて若僭王(ヤング・プリテンダー)チャールズ・ステュアートによるジャコバイトの反乱。ヨークではジャコバイトおよびカトリック排斥運動が盛んとなった。叔父ジェイクスはその中心的人物で、ローレンスも叔父に協力した。

## スターン略年表

- 1747 慈善説教『エリヤと寡婦ザレパテの場合を考える』を刊行。次女リディア生まれる。
- 1750 巡回裁判説教で評価を得、『良心の濫用』を刊行。12月、アルン・トラートン特別教区法廷主教代理に任ぜられる。
- 1751 6月、ピカリング・ポクリントン特別教区法廷主教代理に任ぜられる。
- 1759 1月末、『権争物語』（のちに『夜番外套物語』と呼ばれる）を刊行。秋頃『トリストラム・シャンディ』I, II巻を完成。年末にヨークで印刷刊行。著者名、印刷者・出版社名を記さず、年代を「1760」とする。スターンとしては「ロンドンで」出版しなかったため、半分ほどをロンドンの出版者、ドヅレーの元へ送り、出版について交渉する。
- 1760 1月1日、『トリストラム・シャンディ』I, II巻のロンドン版が出る（『ロンドン・クロニクル』の広告による）。5月、『ヨリック氏説教集』I, II巻が出る。この年、ヨーク州コックスウォルドの教区牧師に任ぜられる。
- 1761 『トリストラム・シャンディ』III, IV巻が1月に、12月にV, VI巻が出る。
- 1762 転地療養のためフランスへ行く（当時七年戦争下で交戦中）。パリでディドロらの啓蒙思想家たちと会う。悪性の熱病に苦しむ。娘リディアも喘息が悪化し、妻子を呼んで南仏に転地することを考える。翌年にかけて南仏を転々とする。以後、熱病と咯血にたびたび襲われる。
- 1763 9月末モンペリエに落ち着く。大陸旅行中のスモレットに会う。
- 1764 単身帰国の途中、パリでD. ヒュームと知り合う。コックスウォルドに帰る。
- 1765 1月、『トリストラム・シャンディ』VII, VIII巻が出る。10月、大陸へ渡り、パリを経てイタリアへ。
- 1766 1月、『ヨリック氏説教集』III, IV巻が出る。ローマ、ナポリに滞在。5月、ブルゴーニュ地方に滞在中の妻子に再会する。

- 1767 1月、『トリストラム・シャンディ』の最終巻、IX巻が出る。エリザベス・ドレイパーを知る。10月、妻子がコックスウォルドにもどるが、妻子ともフランスに永住することを決意する。
- 1768 2月、『センチメンタル・ジャーニィ』I, II巻を刊行。流感と肋膜炎を併発して、3月18日、ロンドンのボンド・ストリートの宿で死去。4月、セント・ジョージ教会に埋葬される。
- 1769 『故スターン師説教集』V, VI, VII巻が出版される。  
その後、妻子は南仏に住んだが、妻エリザベスは1773年にアルピで死去。娘リディアは1772年、フランス人メダル氏と結婚したが、1781年ごろ一子を残して死んだ。リディアは、1775年、父親の書簡集を集めて、『故スターン師の親友への書簡・ラブレー風断章・回想録』と題して出版している。

## 〔著者略歴〕

坂本 武 (Takeshi Sakamoto)

1944年、佐賀県生まれ。

1974年、大阪大学大学院文学研究科博士課程修了後、関西大学文学部専任講師、1977年、助教授、1984年より教授。英文学専攻。1985—86年、ケンブリッジ大学ダーウィン・カレッジ客員研究員。1989年より『シャンディアン』誌（ローレンス・スターン・トラスト）編集顧問、『スクリブレリアン』誌（テンプル大学）書評担当。

## 〔著訳書〕

『イギリスのヒューマニズム小説』（1982年、東海大学出版会、共著）、『英米文学との出会い』（1983年、昭和堂、共著）、『イギリス文学評論II』（1987年、創元社、共著）、ロバート・ダントン『歴史の白昼夢——フランス革命の18世紀』（1994年、河出書房新社、共訳）ほか。

「本書は関西大学研究成果出版補助規程による刊行」

## ローレンス・スターン論集——創作原理としての感情

平成12年 8月28日 発行

著 者      さか      もと      たけし  
                 坂      本      武

発行所      関 西 大 学 出 版 部  
                 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
                 電話06(6368)1121/FAX06(6389)5162

印刷所      穂 高 産 業 株 式 会 社  
                 〒615-0032 京都市右京区西院西高田町17-17

©2000 Takeshi SAKAMOTO

Printed in Japan

ISBN4-87354-297-9 C3097

落丁・乱丁はお取替えいたします。



9784873542973



1923097060001

ISBN4-87354-297-9 C3097 ¥6000E

定価(本体6,000円+税)